

令和5年度 第1回亀山市図書館協議会 会議録

日 時 令和5年5月10日(水) 午後2時から午後4時まで

場 所 亀山市立図書館1階 多目的室

出席委員
岡野 裕行委員
井戸本 吉紀委員
稲ヶ部 明香委員
横山 正委員
原 美津子委員
田中 愛子委員
川辺 一弘委員
服部 しづ子委員
川口 恭子委員

欠席委員 下重 智子委員

事務局
亀山市教育委員会
教育部長 亀山 隆
図書館 館長 井上 香代子
図書館 主幹 山川 美香
図書館 主査 佐々木 孝英
図書館 主事(司書) 天野 史菜

■開会

1.あいさつ

【事務局】

令和5年度第1回亀山市図書館協議会を開催する。

本協議会は、「亀山市立図書館条例」に基づき開催する。

【事務局】

まず、議題に入る前に、連絡事項を申し上げる。前回2月開催の本協議会にご欠席された川口委員をご紹介させていただく。

【川口委員】

前回は子育て支援サークルの研修会の講師の用務のため欠席した。

小学校教員を35年勤め、今は各学校で図書館活用について授業を行っている。子どもたちの様子や学校図書館の観点から意見ができればと思う。

【事務局】

下重委員は欠席、川辺委員は、1時間程度遅れる旨の連絡を受けた。

令和5年度、事務局の体制変更について連絡。図書館運営業務委託事業者の(株)図書館流通センターのスタッフが傍聴させていただく。

(資料の確認)

- 【事務局】 事項書に基づき、会議終了は3時30分を目途に進めさせていただく。
続いて教育長から挨拶を申し上げる。
- 【教育長】 あいさつ。
- 【事務局】 教育長は公務のため、ここで退席させていただく。
ここからの進行については、亀山市立図書館条例施行規則第7条第2項の規定により、岡野会長にお願いする。

2.報告事項

(1) 令和4年度亀山市立図書館の運営状況について

- 【事務局】 事務局より説明
- 【井戸本副会長】 令和5年4月の入館者数について尋ねる。
- 【事務局】 開館日が25日で、18,287人の入館があった。
- 【井戸本副会長】 前回の協議会でも話があったが、図書館とイベント等主催者の連携の基準について聞きたい。例えば2月に開催のボードゲーム大会は、主催者のボードゲーム会HITさんへは図書館側から声をかけて開催に至ったのか。
- 【事務局】 ボードゲーム会 HITさんは、従来からの図書館ボランティア団体であり、協力をいただき開催した。
- 【井戸本副会長】 市内のグループが図書館で活動したい場合はボランティア登録が必要になるのか。
- 【事務局】 多目的室等の利用は、図書館を核としたにぎわいの創出につながるもの、読書活動につながるものなどを図書館と共に開催し、協働していただく運用としている。
- 【井戸本副会長】 伊丹の図書館では、毎日イベントが開催されるような状況と聞くんが、実際にそのような運営となるとマンパワーが奪われるので大変になるのだが、利用者側としては、そのような場になればいいと思っている。
- 【原委員】 多目的室と1階の展示コーナーなど各スペースの利用基準は違うのか。例えば先日開催された新茶まつりは、図書館の対応は、場所を貸すだけなのか。広報では、お茶に関する記事の所に図書館での新茶のふるまいがあると書かれていた。図書館だよりのページには、新茶まつりの事は書かれておらず、管轄が違うから図書館からの案内はないのかと思った。
- 【事務局】 広報紙は様々な情報を提供するもので、掲載には一定のルールを設けており、重複して記事を掲載することはできない。今回は、前段の特集ページでお茶の特集を行い、今年の新茶のふるまいは図書館で行うと案内された。例年、新茶まつりは市役所ロビーで開催していたが、新図書館が出来たことから、場所を変えて開催していただいという経緯。

1階休憩コーナーでふるまっていたが、図書館では、茶に関する書籍や資料を展示し、来ていただいた方にお茶を飲みながら本に触れていただく機会の提供を行った。

【原委員】 多目的室以外の他の場所でイベントが行われても図書館で盛り上げていただいているということがわかりました。

【岡野会長】 イベントの参加人数について聞きたい。累計によるものか。何回開催されての数字なのか。

【事務局】 1月26日から3月末までの期間に開催したイベントの参加者の合計である。

【井戸本副会長】 3階テーマ展示については展示担当がいるのか。テーマのネタが切れないかと心配する。皆で考えたら、たくさん意見が出るのではないと思うが、どのように決めているのか。

【事務局】 テーマは、毎年1月頃に市役所の各課から来年度に啓発したいテーマを募り、スケジュールを決めている。1年を通してほぼ予定は埋まっている。毎月、館内整理日に展示替えを行う。3面の展示架を調整しながら行っている。配架、装飾等は委託事業者をお願いしている。

【井戸本副会長】 市役所の各課が広報の場所に使えることはとても良いことだと思う。市役所の担当者が図書館へ来て貸し付けなどをすることで認知度も高まると思う。来館者も増え、効果も期待できるので活用していただけたらと思う。

(2) 亀山市子どもの読書活動推進計画(第4次亀山っ子読書推進プラン)

実績・進捗状況確認表について

【事務局】 事務局より説明

【井戸本副会長】 さわやか文庫について詳しく聞きたい。どういった仕組みなのか。

【事務局】 亀山市内の小規模小学校6校を対象とし、1セット60冊、合計 360 冊を図書ユニットとし、1学期ごとに順番に回している。内容は、よみもの等、図書館のスタッフが選んだもので、基本的に学校図書館にないものを選んでいる。図書館情報システムと学校図書館情報のシステムと連携しているので本の把握もできる。

【井戸本副会長】 学校図書館に足りない本や、普段は使わないが、あったほうが良い本がセットで届くというのか。

【事務局】 そのとおりである。学校司書にPOP作成や周知、活用をいただいている。

【服部委員】 成果指標について、令和4年度の実績が令和8年度の目標値を超えている項目については、上方修正はされるのか。数字は客観的なものである。目標の数字のため、より高いほうが良いかと思ったため質問した。

【事務局】 達成しているものは継続あるいは伸ばしていく形で、一旦はこの数値でいかせていただく。来年度以降さらに伸びていくようであれば、変更する点について

は、協議会のご議論をいただきながら考えてまいりたいと考えている。

【原委員】

学校司書のおかげで、川崎小学校の図書館の読書活動が活発化している印象を受ける。図書館で借りるより、学校図書館で借りたほうがいいのではと思うくらい本がいっぱいある。靴箱近くにみんなのおすすめの本を入れる箱がある。子どもが子どもに勧めるといういい循環になっている。毎月展示も変わっている。司書さんの頑張りや連携により、充実しているなど感じた。

【川口委員】

学校司書はいるが常勤ではない。小規模校というのは学年で単学級の学校6校を指しており、その学校へは司書が週に1日、中規模校と中学校へは週に2日、井田川小学校へは週3日の勤務。司書、学校職員、子ども達も学校司書の常勤化を強く願っているので、要望を色んな所から上げてもらうといいと思う。まずは学校図書館を利用し、市立図書館からも借りれる、休日に連れて行ってもらうなど広がっていくといいなと思っている。

【岡野会長】

亀山子育てLINEについて登録率はどの程度か、ラインで情報を流したということで評価点5になっているが、受信側がどの程度受け取れているのだろうか。

【事務局】

登録率の把握は出来ていないが、担当部署では、丁寧に発信をしており、新図書館開館以降スタートした子育て支援センターサテライトを実施する中で、参加者に声かけをすると、ラインで知ったという返答が多く、効果があることを実感している。

【岡野会長】

ブックスタートについては、どのような運用か。引換券を渡して100%達成となっているが、赤ちゃん側がどれくらい受け取っているのか。

【事務局】

引換券は、出生届の際に予防接種の案内等と一緒にブックスタートの案内等が入った封筒が渡されるので、出生児に漏れなく行き渡る。本の受け渡しは新生児訪問または赤ちゃん訪問時に保健師から受け取る。里帰りなど留守の場合は、あいあい受け取ることもある。全員に届いている。

【岡野会長】

資料のデータに記載されている引換券を渡した328件という数値は、新生児の人数と近いということか。

【事務局】

そのとおりである。

【井戸本副会長】

ほんろぐに関するところで、3冊達成した後も読書に取り組んでもらう工夫が必要と課題が書かれているが、達成後を見据えた課題ということか。既に3冊達成した子どもはいるのか。

【事務局】

まだ3冊達成者は出ていない。達成した先を見越して設定した課題である。

【原委員】

図書館の利用についての出前講座の対象者について聞きたい。

【事務局】

市内の10人以上の団体向けに開催している。昨年もまちづくり協議会や学校へお伺いした実績がある。申し出があれば日程を調整してお伺いしたいと考え

ている。

講座の内容は、「図書館を活用しよう」をテーマに図書館の本について、利用方法についてなど相談の上決める。

- 【原委員】 実績や進捗に出前講座のことも入れたら良いと思う。
- 【井戸本副会長】 学校図書館担当者との打合せの時間が取れていないという件について聞きたい。図書館職員と学校図書館の担当者間に情報共有の機会はあるのか。
- 【事務局】 年間計画を立てる際に、司書と担当者の連携を充実させていくと打ち出している。
- 【川口委員】 学校図書館担当者、図書館の打ち合わせなのか、アドバイザーや司書と学校図書館担当者が打ち合わせできていないという意味のどちらになるのか。学校の先生は担任を持ちながら図書館を担当しており、多忙な中で打ち合わせをしている。図書館と学校関係の担当者の連携はこれから充実させていくべきだと考えている。
- 【井戸本副会長】 相互貸借も始まるので、現場の担当の方の都合を優先で考えて、打ち合わせを設定していくほうが良いのではないかと考える。
- 【井戸本副会長】 出前講座で読み聞かせをしてもらうというのをまちづくり協議会から依頼することは可能か。
- 【事務局】 可能である。昨年、行っている。
地元の図書館ボランティア団体に了解もいただいております、協力を得て活動することも可能ではないかと考えている。
- 【田中委員】 学校司書の配置がなかった時代に、ボランティア団体として13年間学校図書館に関わってきたが、学校図書館担当の先生によって対応は異なっていた。司書配置の必要性を言うことで意識も変わるのではないかと思います。
- 【川口委員】 年3回、市内の小中学校の図書館担当の職員で会議を行う学校図書館情報協議会があり、オリエンテーションを行っている。学校司書との連携の充実や管理職への働きかけ、ボランティアさんとコミュニケーションを取って良い活動につなげてほしいと参加者に向けて話をしている。先生方は物凄く多忙で、学校司書の常勤化を願う。読書は子どもの発達に役立つが、学校図書館、市立図書館利用の周知を大人に働きかけないと変わらないと思う。地域の人、大人、先生への働きかけが課題であると認識している。図書館も親御さんへの働きかけを大事に考えていただきたいと思っている。
- 【横山委員】 22のまちづくり協議会の中で、出前講座は年間に各地区4回ずつくらい行われているので、ぜひ活用していただきたい。

(3) 亀山市立図書館サービス計画の進捗状況について

- 【事務局】 事務局より説明
- 【稲ヶ部委員】 レファレンスデータベースについて、課題があるということだが、件数が少ない

のかデータを積み重ねるしくみが上手くできていないのか。

【事務局】

両方だと認識している。新図書館になり窓口業務を委託事業者に委託する中で、郷土的な内容を求められる場合は市職員が対応すると役割分担をしている。それらの積み上げを初めたところで実際に内部の情報システムにデータベース化したものが11件である。計画では、もう少し多くなっているが、積み上げて整理をし、窓口業務等でクイックレファレンスとして提供できるようにと考えている。一方で市民の方に対するレファレンスの周知が不足していると認識しており、丁寧に周知しながら利用者に課題解決ができて図書館に来て良かったと思ってもらえることにつなげて行きたいと考えている。

【井戸本副会長】

歴史に関するレファレンス対応等は、歴史博物館との連携を強めてもよいのではないか。歴史を知ることには大変なことであると思うので、蓄積のある博物館とコラボすることはよいと思う。図書館と歴史博物館が両方ある市は少ないので、連携を強めていければと思う。

【事務局】

歴史的なものは連携を強めるとともに、2階文化情報プラザにあるアーカイブで検索が可能なものもある。アーカイブの周知と、内容の充実に努めたい。

【井戸本副会長】

『亀山市史』の使い方も改善してほしい。

【事務局】

『亀山市史』は20年前のシステムのため、スマートフォン対応がないなどの課題がある。その分も文化情報プラザの亀山アーカイブでカバーできる面があるとも考えている。

歴史博物館と図書館で市史編纂以降からのまちの記録作成に取り組んでいる。図書館は特に、作成した資料の活用の担い手としての位置づけがある。市史は改善していく。

【井戸本副会長】

平成の大合併後に新しい市史を作っているのは亀山市だけである。作った当時のシステムである以上、使いにくさはあるが、ぜひ『亀山市史』の活用をしてほしい。

5. 協議事項

(1) 令和5年度亀山市立図書館事業計画について

【事務局】

事務局説明

【川口委員】

10月のビブリオバトルの参加対象者については、どう考えているか。

【事務局】

詳しい内容に関しては、これから進めていくが、対象は一般を想定している。

【川口委員】

中学生は、修学旅行や文化祭等の行事の兼ね合いをから10月より後のほうが良い。11月の末から12月にかけて、中学2年生はビブリオバトルについて学ぶので、授業支援や子どもたちへの働きかけもしやすくなる。

【事務局】

一般向けと考えていたが、学校教育課とも相談したうえで日を決めて開催したいと思う。

【岡野会長】

ビブリオバトルは市民大会のような形で老若男女問わず行っているところもあるし、市民に限らず、他市からも参加者を募るところもある。作家をゲストに呼ぶ

などもある。予算の関係もあるため難しい面もあるが、うまく実現できると良いと思う。

【服部委員】 ビブリオバトルについて詳しく知らなかったが、図書館の行事として開催しようとした趣旨や目的は何か。

【事務局】 ビブリオバトルは国の方針としても推奨されている。
ボランティア団体の中からも開催したいとの声が上がっている。コロナ前にはビブリオバトルの体験も行ってた。

昨年12月にも図書館フォーラムで岡野先生のご協力で開催した。市民の皆様と共にできればいいなと思い、この機会に取り上げさせていただいた。

【服部委員】 そのような経緯から亀山高校生の参加という説明があったのだと理解した。亀山市に住んでいる人や縁のある方の思いが計画に盛り込まれたということですね。

【田中委員】 コロナ禍で開催できなくなり止まったままである。

【井戸本副会長】 津高校でも図書委員で明日開催する。3分間の設定で好きな本を紹介し、読みたくなった本を選ぶというビブリオバトルに近い形で開催すると盛り上がる。選ばれた本は貸出も多い。本を通じて人と人が知り合うのは、図書館的な要素が大きい。

【服部委員】 ハンドブックを見ると5分や3分と形式が書かれているが、形にこだわらず、亀山市の図書館らしいビブリオバトルでいいのではないかな。

【岡野会長】 令和4年12月に行った図書館フォーラムでも取り上げたため、ぜひ活かしてほしい。

【田中委員】 周知度の都合で、一般だけでは参加者が集まらないのではないかなという懸念がある。学生は盛り上がるが、内容を知っていないと集まらない。周知の必要性を感じる。

【岡野会長】 大人同士でのビブリオバトルの開催があると根付いていく。

【井戸本副会長】 亀山ブランドの関係者や地域の人を巻き込むなど、事前に声かけをして開催するのが良いと思う。

【岡野会長】 一度開催して成功するとそのまま続いていく。継続的に開催し、一般化していけば認知度も高まっていくと思われる。

【川口委員】 調べる学習講座について詳しく教えてほしい。

【事務局】 図書館での開催となるので、図書館資料の使い方や市内団体についての紹介などになると思われる。

【川口委員】 学校の教育内容と強くリンクしていると想定されるため、事後でも構わないので、内容を教えてほしい。

【事務局】 年に数回出席する学校司書との会議にて報告や案内等をしていきたい。

【川辺委員】 図書館まつり月間について、今年度は6月だけになるのか。

【事務局】 今年度は6月と10月ごろに開催を予定している。

【川辺委員】 勢和図書館のブックピクニックをイメージした。いくつかの団体が図書

館と一緒に計画して図書館利用者を増やしたり、新図書館の狙いの一つである図書館が情報の出会う場や人と人が出会う場であるという中身にしたいと思っていた。

旧来型の月間を設け、ボランティア団体が色々な催しを開催するだけでなく、一つのコンセプトを元にこんな狙いで開催しようというものにできたらいいと思う。進め方などを当団体では考えたり、ボランティア会議でも提案している。実行委員会形式のようなもので開催するという考えはあるか。

過去に2回ほど、ボランティア団体が実行委員会となって開催したことがあるが、図書館と一緒に計画を立てることはできなかった。様々な団体が図書館と一緒に計画を立てる形にしたいと考えている。

【事務局】

最終形として実行委員会のようなものにするのがふさわしいと思っているが、まだ現状は、施設管理面を例に挙げても一つ一つ蓄積していくことが多く、今後は個人ボランティアの募集も拡大していくので、利用者に歩み寄る場を増やしていきたいと考えている。市民と共に育っていききたいと考えている。

(2) 図書館運営にかかる評価方法について

【事務局】

事務局説明

【岡野会長】

図書館評価は他の自治体でも作成しているところが多い。この機会に作成していくのは良いと思う。

【川辺委員】

評価疲れしないようにしてほしいと思う。「評価のための評価」にならないようにしてほしい。

【井戸本副会長】

貸出冊数や来館者数等のアウトプットの数値にとらわれず、亀山市ならではの目標があってもよいと思う。

【岡野会長】

評価には質的評価と量的評価がある。数値目標だけにならないようにしたいと思う。

4. その他、お知らせ

【事務局】

事務局説明

【岡野会長】

読書活動拠点への定期的な訪問はどのくらいの頻度で考えているか。

【事務局】

主に定期イベント開催時などで、月に2、3回程度で考えている。

【岡野会長】

他に質問等はあるか。

【原委員】

3、4階での掃除機の音について、気を付けていただきたい。

地下駐車場の出口が上り坂で狭いため出庫に苦勞しているという話をよく聞く。平面駐車場を案内する掲示を増やしてほしい。

【事務局】

清掃については、清掃委託業者と情報共有して対応していきたいと考えている。

駐車場については、設備自体の変更などにはできないが、掲示等による周知などを工夫し改善していく。

【事務局】

次回の協議会の開催予定について、10月頃の開催を予定している。

図書館運営にかかる評価について、正副会長と事務局で素案を作成し、協議いただきたいと思っている。

【閉会】